

日本電子(株)決算説明会

JEOL



2005年6月3日

Contents

- 2005年3月期決算概要と今後の業績予想

専務取締役 大塚 東

- 2005年度の経営方針と重点施策

代表取締役社長兼COO 原田 嘉晏

司会進行 経営戦略室長 福山 幸一

2005年3月期決算概要と 今後の業績予想

専務取締役 大塚 東

2005年3月期実績および 2006年3月期予想 I

(単位:百万円)

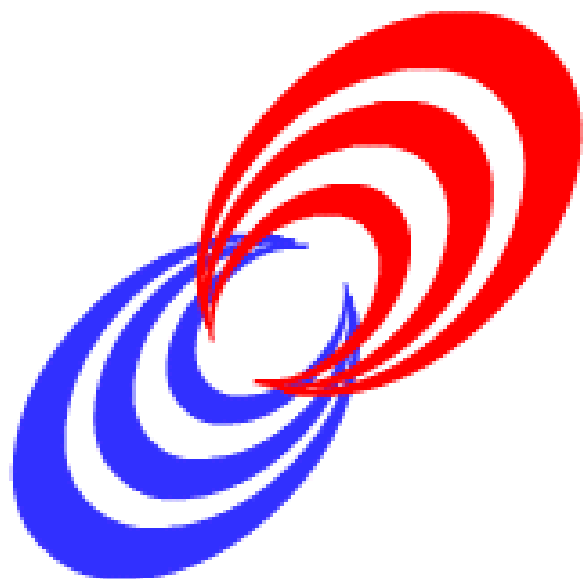
	2004年3月期		2005年3月期		2006年3月期(予想)		増減
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	
売上高	87,096	100.0	85,914	100.0	92,000	100.0	6,086
営業利益	2,067	2.4	1,985	2.3	2,000	2.2	15
経常利益	1,638	1.9	1,628	1.9	1,800	2.0	172
当期純利益	784	0.9	1,244	1.4	800	0.9	△ 444

2005年3月期実績および 2006年3月期予想Ⅱ

(単位:百万円)

	2004年3月期		2005年3月期		2006年3月期(予想)		増減
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	
設備投資額	3,366	3.9	3,774	4.4	2,200	2.4	△ 1,574
減価償却費	2,437	2.8	2,622	3.1	2,300	2.5	△ 322
研究開発費	4,030	4.6	4,435	5.2	4,600	5.0	165
R O E	3.5%	—	4.8%	—	2.9%	—	—
R O A	0.8%	—	1.3%	—	0.8%	—	—

事業セグメントと主な営業品目



産業機器

産業機器

電子ビーム描画装置、ウエハプロセス評価装置、超微細加工評価装置、ウエハ表面検査装置、電子銃・電源、プラズマ銃・電源、プラズマ発生用高周波電源、高密度反応性イオンプレーティング装置、熱プラズマシステム

医用機器

自動分析装置、臨床検査システム、アミノ酸分析機、便潜血免疫分析装置

理科学機器

電子光学機器

電子顕微鏡、走査電子顕微鏡、電子プローブマイクロアナライザ、オージェマイクロプローブ、光電子分光装置、走査形プローブ顕微鏡、集束イオンビーム試料作製装置

分析機器

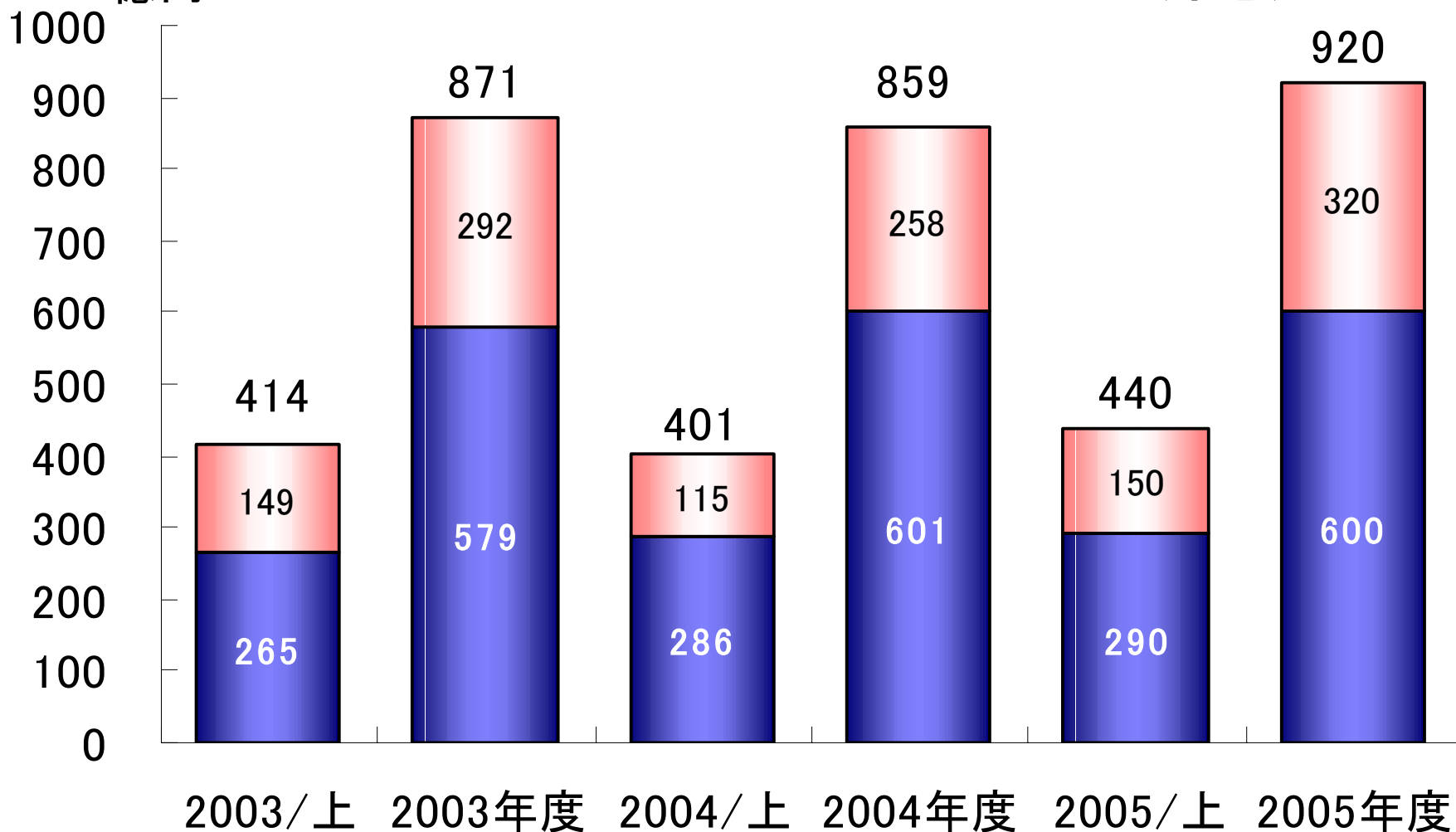
核磁気共鳴装置、電子スピン共鳴装置、質量分析計、蛍光X線分析装置、ポータブルガスクロマトグラフ、全有機炭素分析計

事業の種類別売上高(連結)

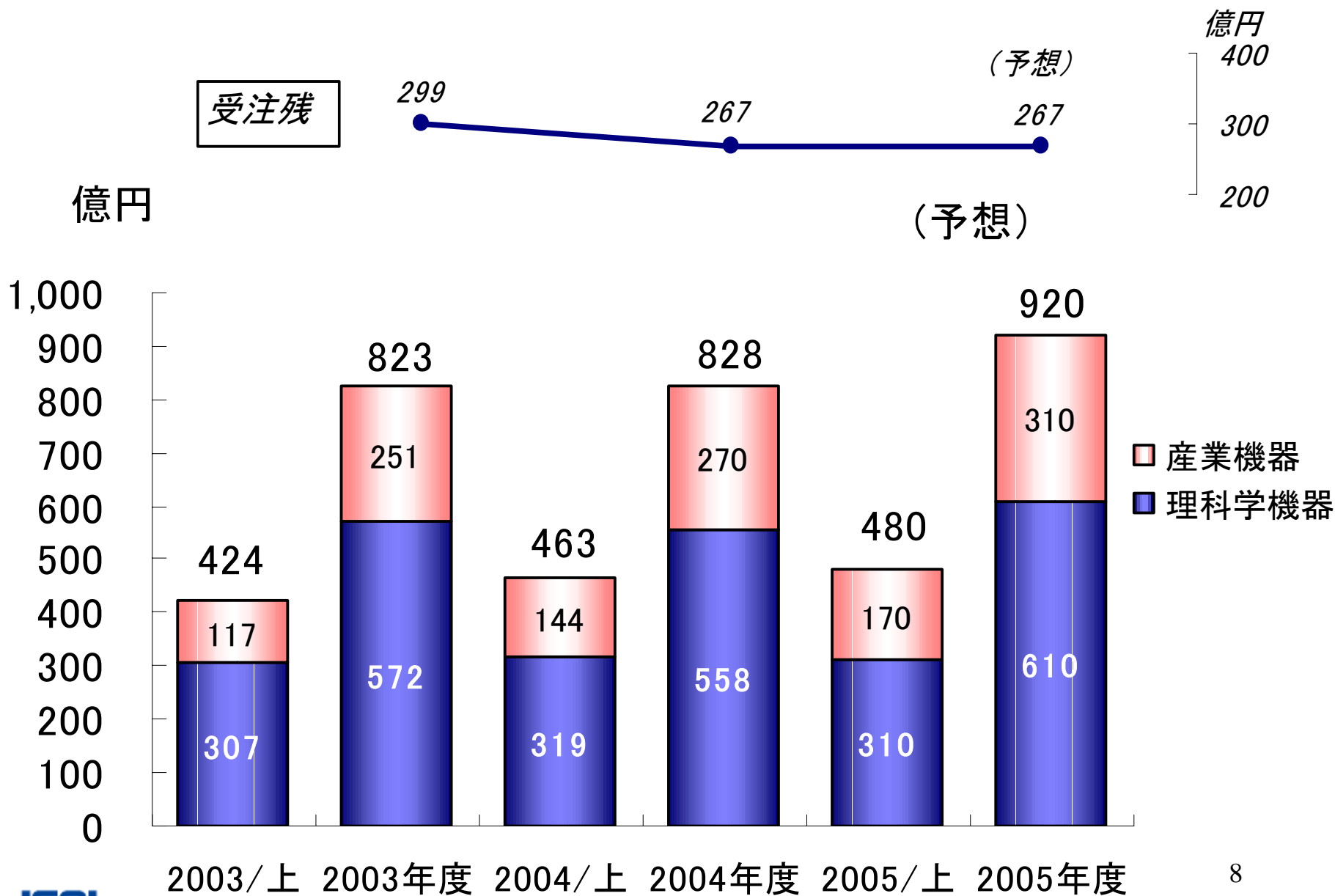
- 産業機器
- 理科学機器

(予想)

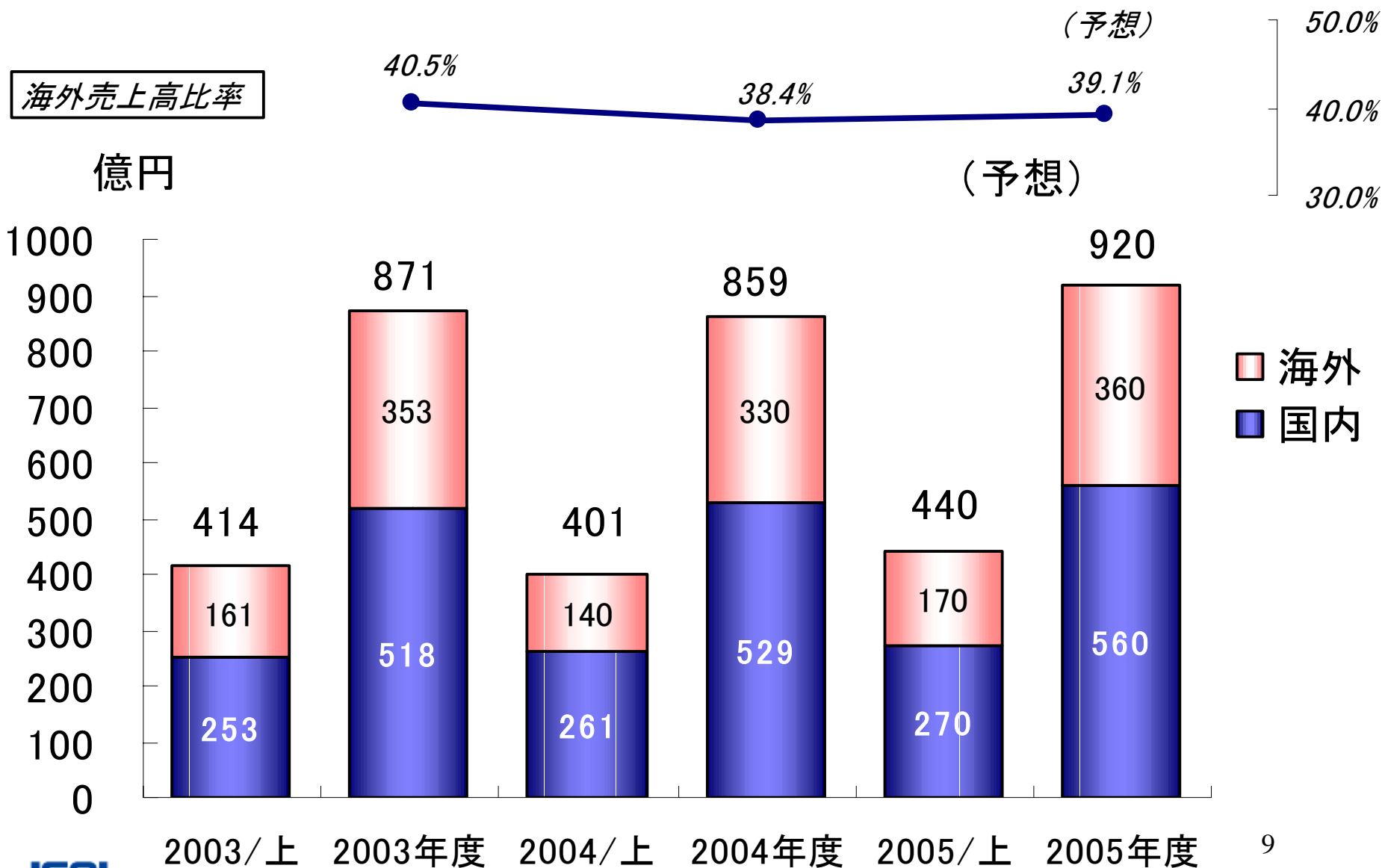
億円



事業の種類別受注高と受注残(連結)



海外売上高と海外売上高比率（連結）

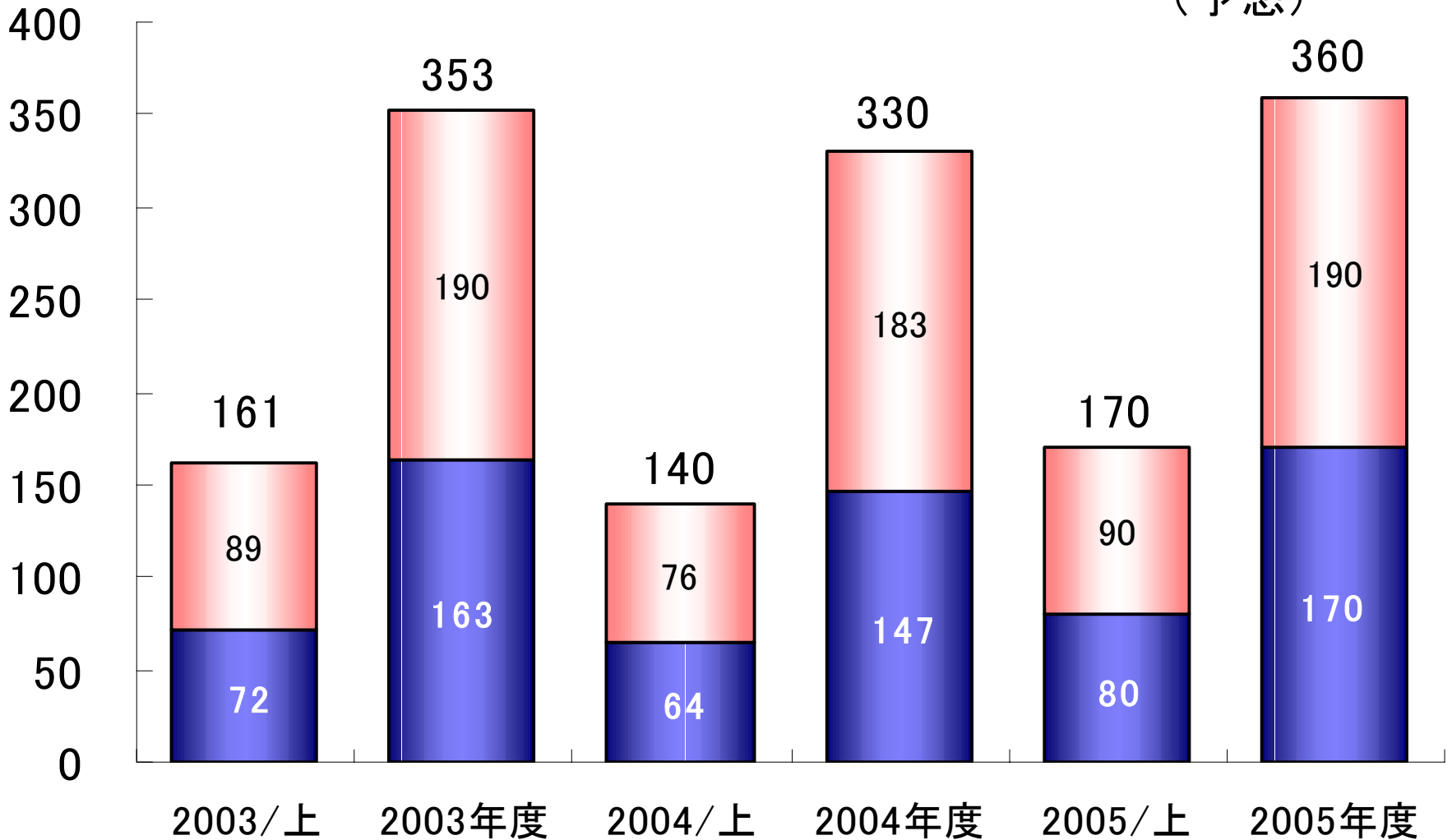


海外売上高(連結)

■ 欧州・アジア他
■ 北米・中南米

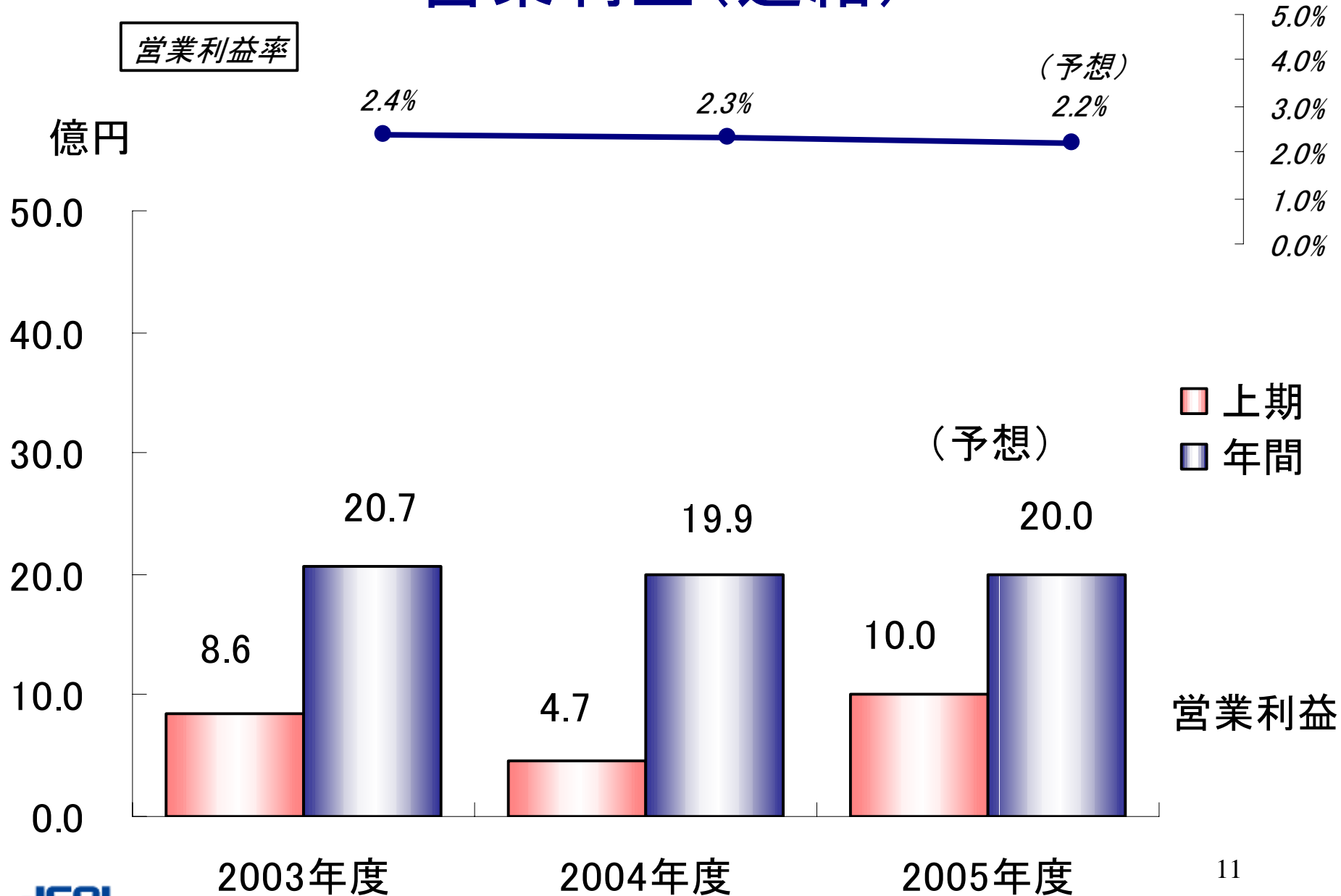
億円

(予想)



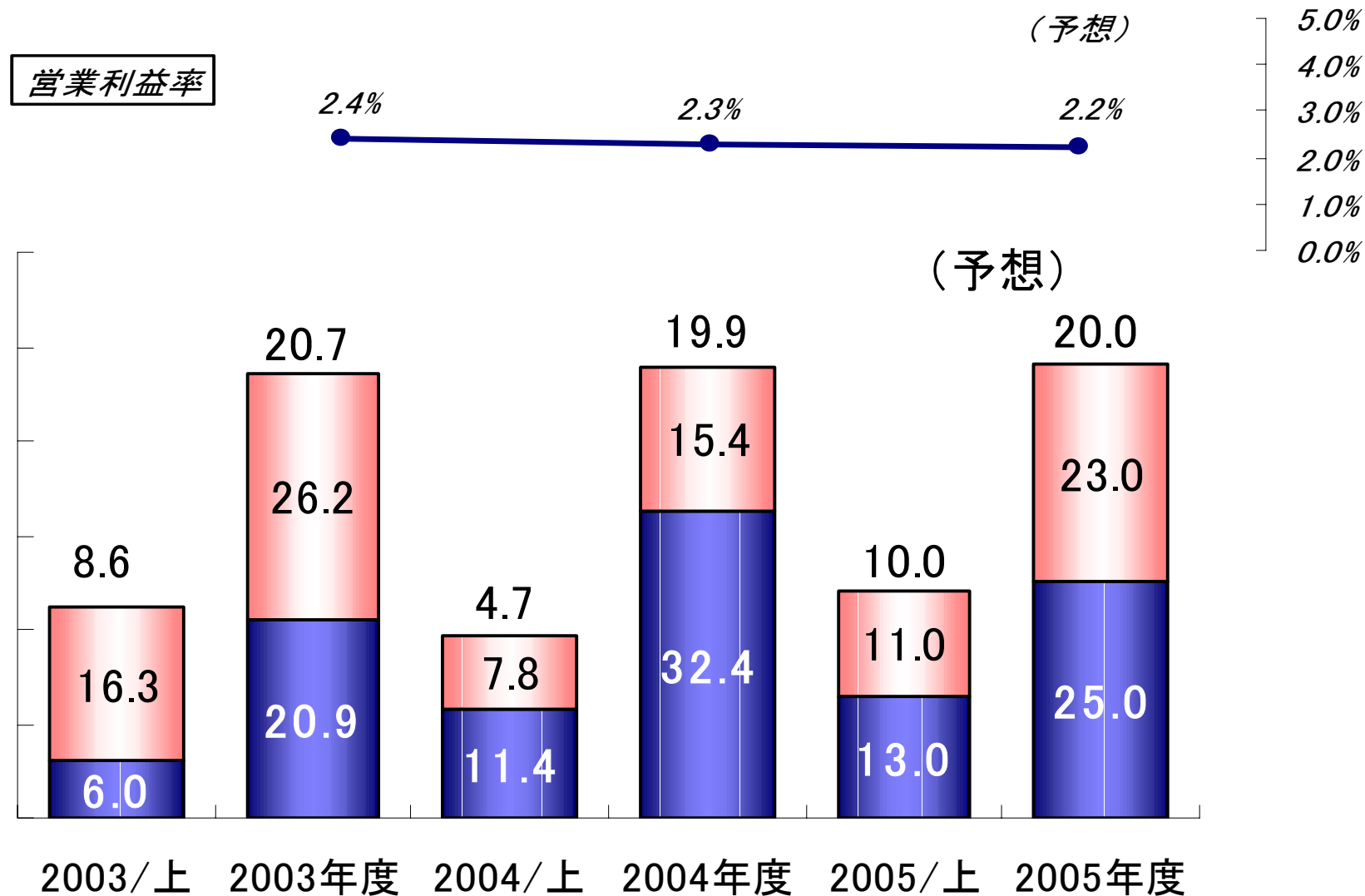
営業利益(連結)

営業利益率



事業の種類別営業利益(連結)

- 産業機器
- 理科学機器



* 合計には消去又は全社分が含まれております。 12

經常利益(連結)

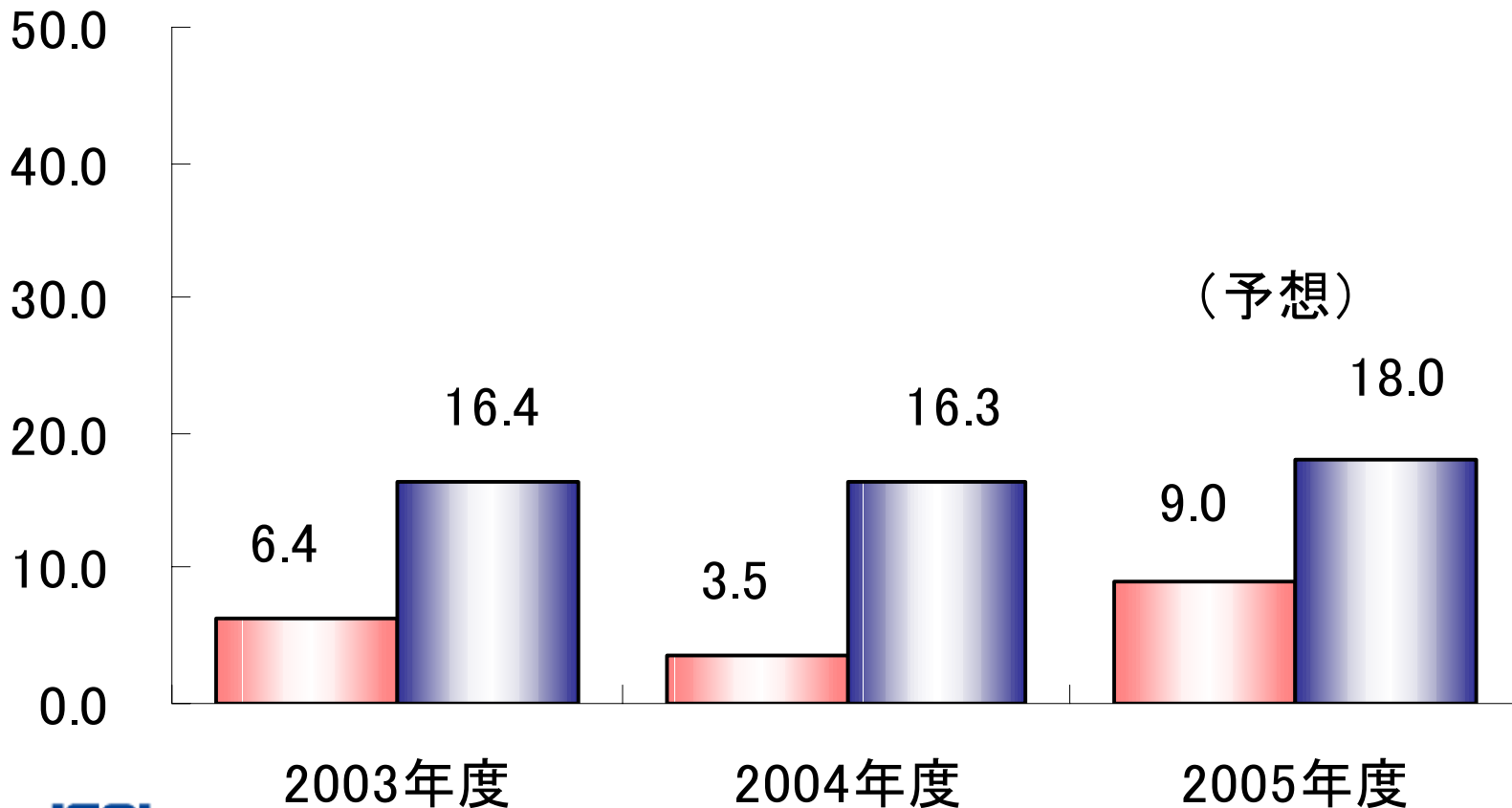
經常利益率

1.9%

1.9%

(予想)
2.0%

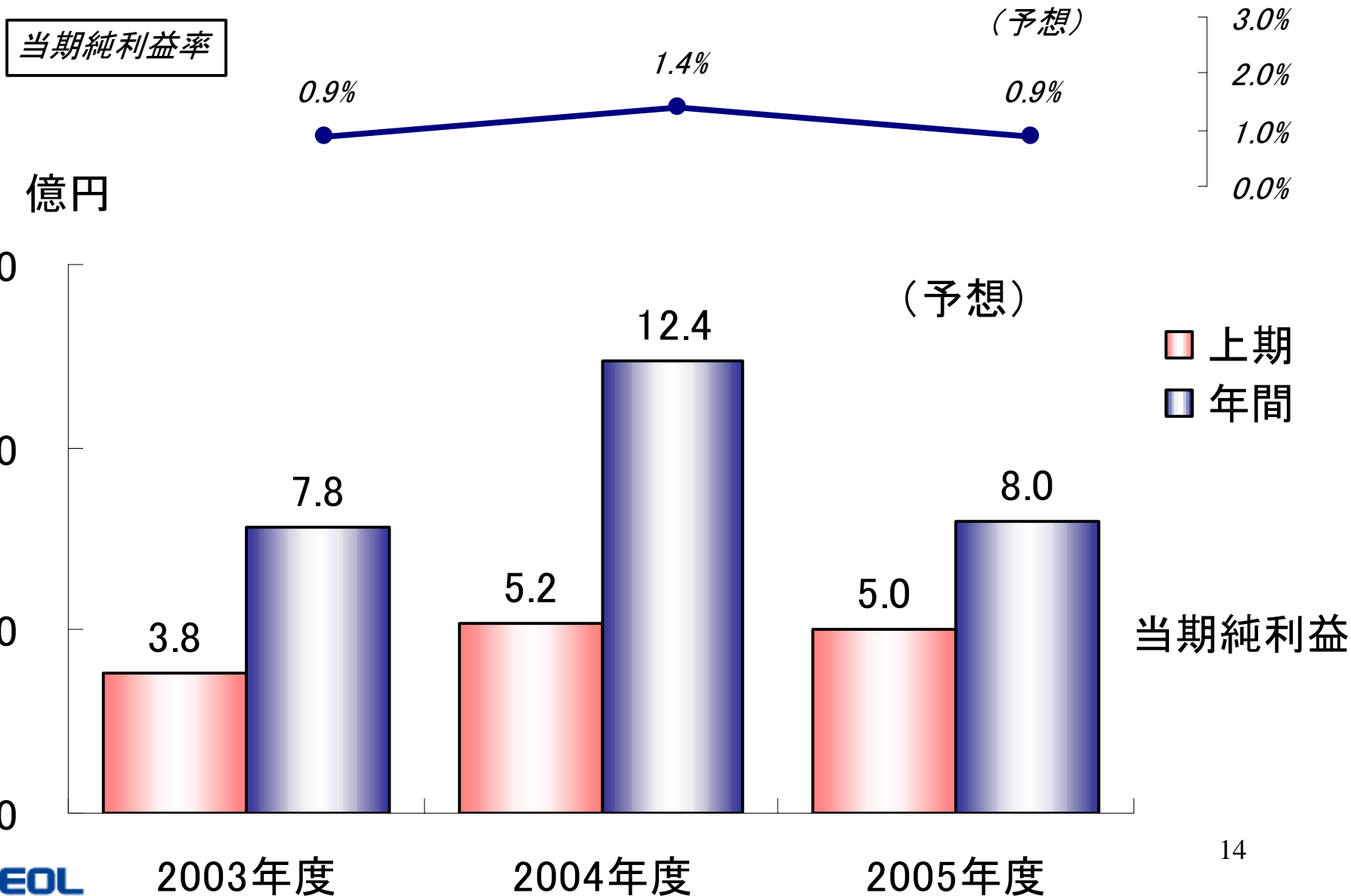
億円



上期
年間

經常利益

当期純利益(連結)



原価率と研究開発費率(連結)

(予想)

原価率

69.3%

68.4%

70.3%

研究開発費率

4.6%

5.2%

(予想)

5.0%

(予想)

億円

300

200

100

0

2003/上

2003年度

2004/上

2004年度

2005/上

2005年度

研究開発費
販管費

124

19

105

246

40

206

123

19

104

252

44

208

126

22

104

253

46

207

75.0%

70.0%

65.0%

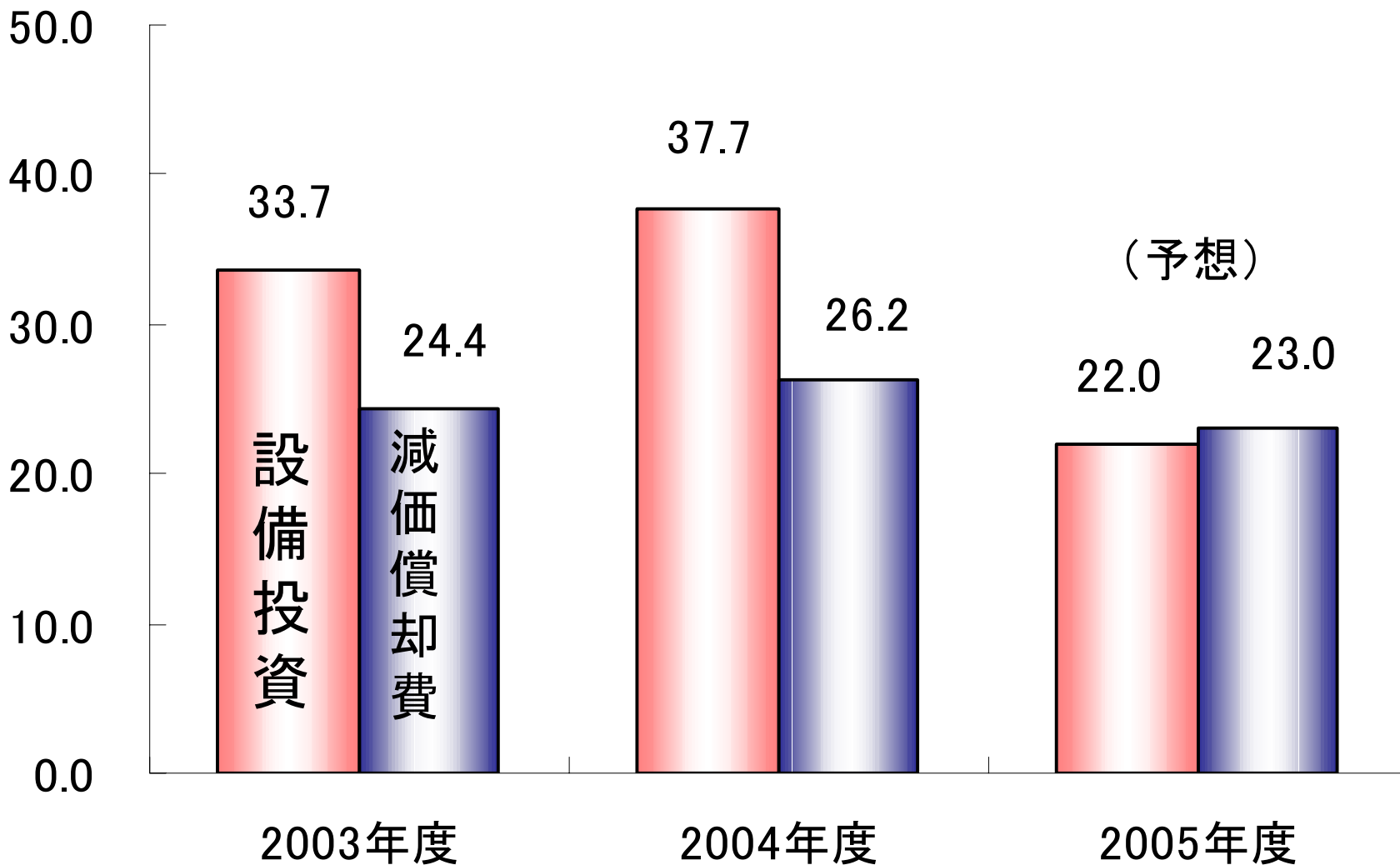
5.5%

5.0%

4.5%

設備投資と減価償却費（連結）

億円



貸借対照表(連結)

単位: 億円

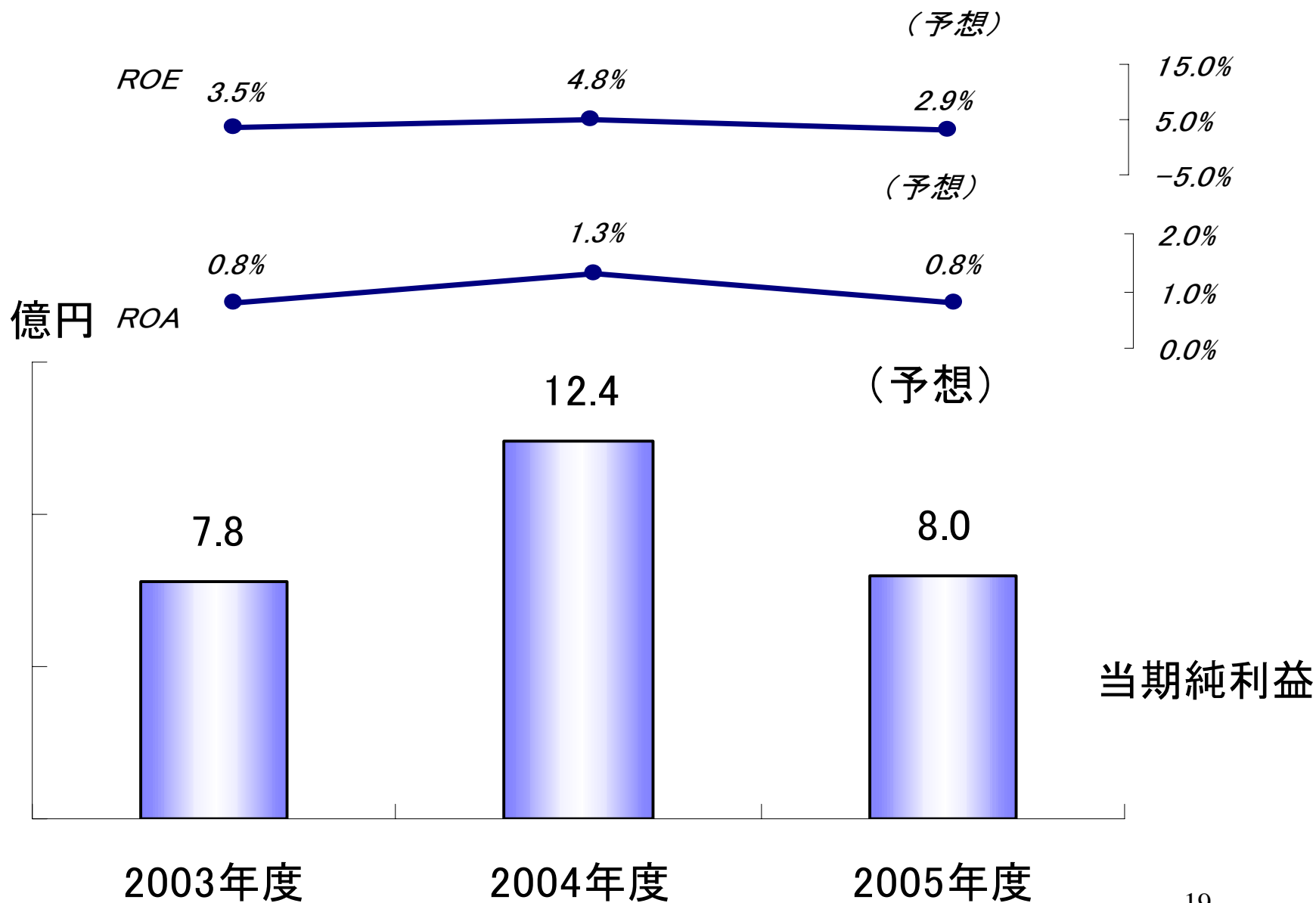
	2003年3月	2004年3月	2005年3月	2006年3月 (予想)
流動資産	734	733	725	730
内売上債権	294	258	250	270
内棚卸資産	346	331	354	330
固定資産	196	220	227	230
総資産	931	953	952	960
流動負債	557	536	530	540
固定負債	178	168	150	140
株主資本	195	248	271	280
株主資本比率	21.0%	26.0%	28.4%	29.2%

キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

	2003年度		2004年度		増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 6	49	△ 17	15	△ 11	△ 34
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 14	△ 33	△ 9	△ 27	5	6
財務活動による キャッシュ・フロー	37	40	△ 21	△ 19	△ 58	△ 59
現金及び現金同等物の 増減額	16	54	△ 46	△ 30	△ 62	△ 84
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	73	112	67	82	△ 6	△ 30

ROE/ROA(連結)



2005年度の経営方針と重点施策

2005.6.3

JEOL 日本電子株式会社
代表取締役社長兼COO **原田 嘉晏**

新中期経営計画

Focus Plan 2006 (2004年度～2006年度) の概要

< 事業目標 >

【連結売上高】 ミニмум **1,000億円**

【連結経常利益】 ミニмум **50億円**

中期経営計画達成に向けた 2005年度の経営方針

<経営方針>

- ソリューションビジネスの推進
- 付加価値の高い商品の提供
- 組織改編

経営方針①

ソリューションビジネスの推進(1)

周辺装置の充実と市場拡大

■ JEOLグループにとって全く新しい市場に入っていく

■ クロスセクションポリッシャ

■ イオンスライサー

■ DART イオン源

■ キャリースコープ



経営方針①

ソリューションビジネスの推進(2)

環境対応

■ WEEE & RoHS指令

■ 製品についての二つの取り組み

- 一つ目は、環境貢献型製品の提供
- 二つ目は、環境にやさしい製品を市場投入。



経営方針②

付加価値の高い商品の提供

超高圧電子顕微鏡をはじめとする
ナノテク製品分野での拡販

- 超高圧電子顕微鏡
JEM-ARM1300
(加速電圧1300kV)
を九州大学に納入



経営方針③

組織改編

- 市場の声を迅速に取り入れ、レスポンスを早く対応する
 - 2005年4月1日付
 - 機能別組織 → 製品系列別組織
 - 半導体機器、医用機器は事業部制に

2005年度の重点施策

- 東北生産拠点の拡張
- 生化学自動分析装置の増産対応と原価改善
- 海外の販売力強化
- 産官学連携強化
- 組織のスリム化
- キャパシタ事業の推進

重点施策①

東北生産拠点の拡張

生化学自動分析装置の増産対応と原価改善

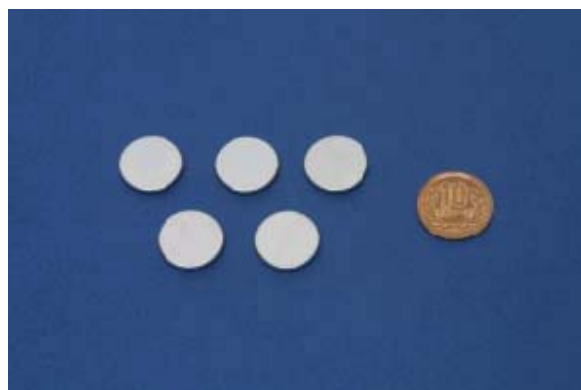
- 東北での医用機器一貫生産
- 山形クリエイティブ(株)天童工場の拡張
- 既に生産している電子顕微鏡及び付属装置も含め生産を拡大



重点施策②

キャパシタ事業の推進

- 2005年2月9日～11日に『ENEX2005 第29回地球環境とエネルギーの調和展』に『エコキャッシュ (EcoCache)[®]』を出展。
- サンプルについては、各方面からお問合せがあり、限定的に貸与方式で提供中。



コイン型キャパシタ



大型キャパシタモジュール



小型キャパシタ電源モジュール

2004～2006年度利益見通し

(単位:百万円)

	2004FY実績		2005FY計画		2006FY計画	
	理科学機器	産業機器	理科学機器	産業機器	理科学機器	産業機器
売上	60,083	25,831	60,000	32,000	64,000	36,000
営業費用	56,837	24,292	57,500	29,700	59,400	31,600
営業利益	3,245	1,538	2,500	2,300	4,600	4,400
消去又は全社	2,798		2,800		3,400	
経常利益	1,628		1,800		5,000	
当期純利益	1,244		800		2,500	

主要製品の受注・売上台数[参考資料]

(推移と計画)

- 電子顕微鏡(TEM)
- フィールドエミッション走査電子顕微鏡(FE-SEM)
- 汎用走査電子顕微鏡(除くFE-SEM)
- 核磁気共鳴装置(NM)
- 質量分析計(MS)
- 電子ビーム描画装置(EB)
- 生化学自動分析装置(BM)

■ 電子顕微鏡 (TEM)

(単位:台)

	02年度	03年度	04年度計画	04年度実績	05年度計画
受注	160	120	140	150	150
売上	130	150	130	150	150



■ フィールドエミッション走査電子顕微鏡 (FE-SEM)

	02年度	03年度	04年度計画	04年度実績	05年度計画
受注	130	130	140	150	150
売上	120	140	150	150	150



■ 汎用走査電子顕微鏡 (除くFE-SEM)

	02年度	03年度	04年度計画	04年度実績	05年度計画
受注	390	420	440	470	500
売上	390	410	430	470	500



■ **核磁気共鳴装置(NMR)** —超伝導磁石 + 永久磁石タイプ—
(単位:台)

	02年度	03年度	04年度計画	04年度実績	05年度計画
受注	130	100	130	110	100
売上	140	120	110	100	90



■ **質量分析計(MS)** —磁場形 + 飛行時間形—

	02年度	03年度	04年度計画	04年度実績	05年度計画
受注	90	80	110	70	100
売上	100	90	90	80	80



■ マスク描画装置 (JBX-9000MV / 3030シリーズ)

(単位: 台)

	02年度	03年度	04年度計画	04年度実績	05年度計画
受注	5	4	7	5	5
売上	4	8	5	4	7



■ 生化学自動分析装置 (JCA-BMシリーズ)

	02年度	03年度	04年度計画	04年度実績	05年度計画
受注	290	350	480	440	580
売上	290	300	440	410	530



資料取扱上のご注意

本プレゼンテーション資料及び弊社代表者が口頭にて提供する情報には、現時点で把握可能な情報から判断した、仮定及び所信に基づく記述が含まれています。

今後、経済情勢をはじめ半導体市況や研究開発投資など、弊社の業績に影響を与える様々な既知または未知のリスクによって、ここに述べられている見通しと実際の結果が、異なったものとなる可能性が否定できないことをご承知おき願います。

※日本電子株式会社は、本プレゼンテーションに記載された内容を更新する義務を負っておりません。